

江津商工会議所 地域経済動向調査報告（概要版）

令和4年度 第2四半期（令和4年7月～9月）

- (1) 調査時点 2022年 11月 1日時点
 (2) 調査方法 郵送により実施 回答 57件
 (3) 調査対象 当所会員名簿から業種のバランスを考慮し抽出
 ※本調査より調査の取止めた事業者および業種分類の変更を行った事業者がある

1. 景況天気図

特に好調	好調	不変	不振	極めて不振
				
$50 \leq DI$	$25 \leq DI < 50$	$0 \leq DI < 25$	$\blacktriangle 25 \leq DI < 0$	$DI < \blacktriangle 25$

DI とは…（増加・好転・過剰の企業割合）－（減少・悪化・不足の企業割合）

前年同期比	全業種	製造	建設	運送	卸・小売	飲食・サービス
売上高						
	▲26.3	▲16.7	▲53.3	0.0	▲40.0	9.1
資金繰り						
	▲28.6	0.0	▲40.0	▲100.0	▲46.7	0.0
業況						
	▲35.7	▲25.0	▲57.1	▲50.0	▲40.0	▲9.1
採算 （経常利益）						
	▲45.5	▲16.7	▲64.3	▲66.7	▲53.3	▲36.4
雇用(今期水準)	▲42.6	▲33.3	▲78.6	▲75.0	▲21.4	▲20.0
在庫(今期水準)	▲5.6	▲9.1			0.0	

2. まとめ

2022年7月～9月は、前年同期比（2021年7月～9月）と比較して、厳しさが増している。新型コロナウイルス感染症第7波やウクライナ侵攻、円安ドル高等を起因とした物価高の影響が大きいと思われる。経営上の問題点として、「仕入・材料価格の上昇」が各業種別でも高い割合を占めており、コメントにおいても材料、仕入、光熱費や人件費の値上がりの影響を受けていると多くの回答をいただいた。その中には価格転嫁ができずにいる事業者もある。また、納期遅れにより設備の更新や商品の仕入ができず、収益の妨げになっているところや、従業員不足や若手人材の早期退職が経営上の課題になっていると挙げる事業者も複数ある。